

北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 6 号 (通巻 No.126)

2002 年 7 月 5 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道南～道央日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/25～7/3 の調査)

スルメイカ積丹半島北方で分布密度高く 前年より小型

スルメイカの分布密度と大きさ

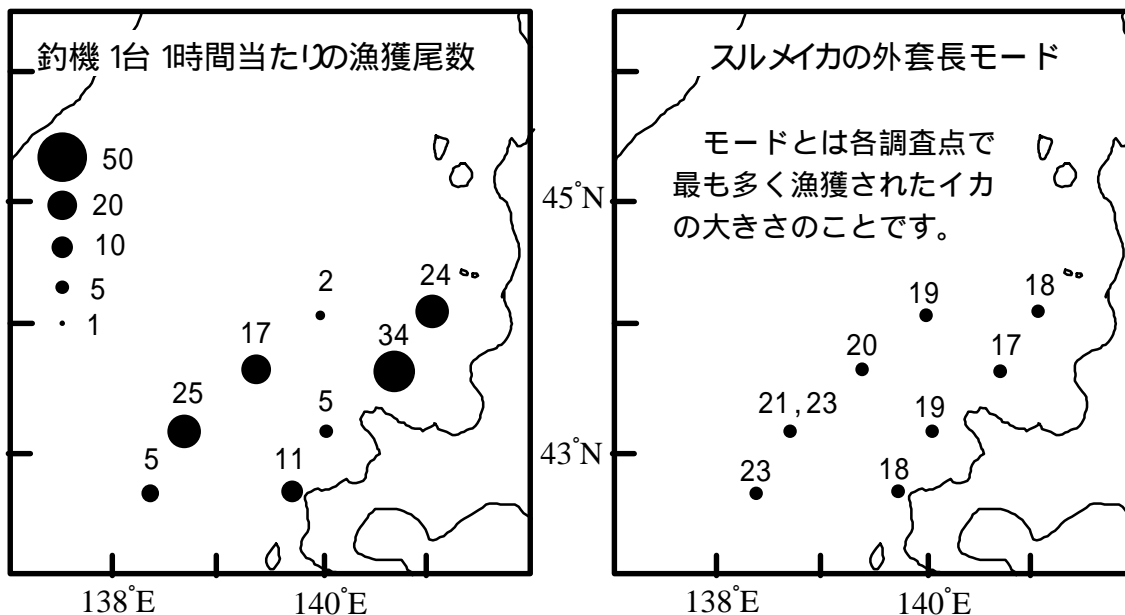


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 2 ~ 34 で, 積丹半島北方や留萌の沿岸寄りで 34, 24 と分布密度が高いほか, 積丹半島西方沖合にも 17 以上の調査点がありました (図 1 左側)。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 15 で, 前年を下回ったものの近年で中位程度でした (図 2)。

スルメイカの大きさは, 沿岸寄りの分布密度の高い調査点でモード 17~18cm と小さく, 沖合の調査点でモード 19~23cm でした (図 1 右側)。調査海域全体では 17~18cm の割合が高く, 前年(2001 年)よりも小さいイカが多くなっていました (図 3)。

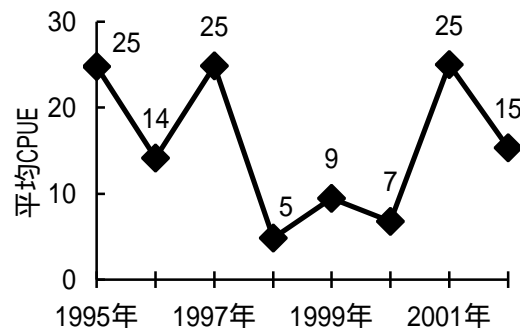


図 2 平均 CPUE の経年変化

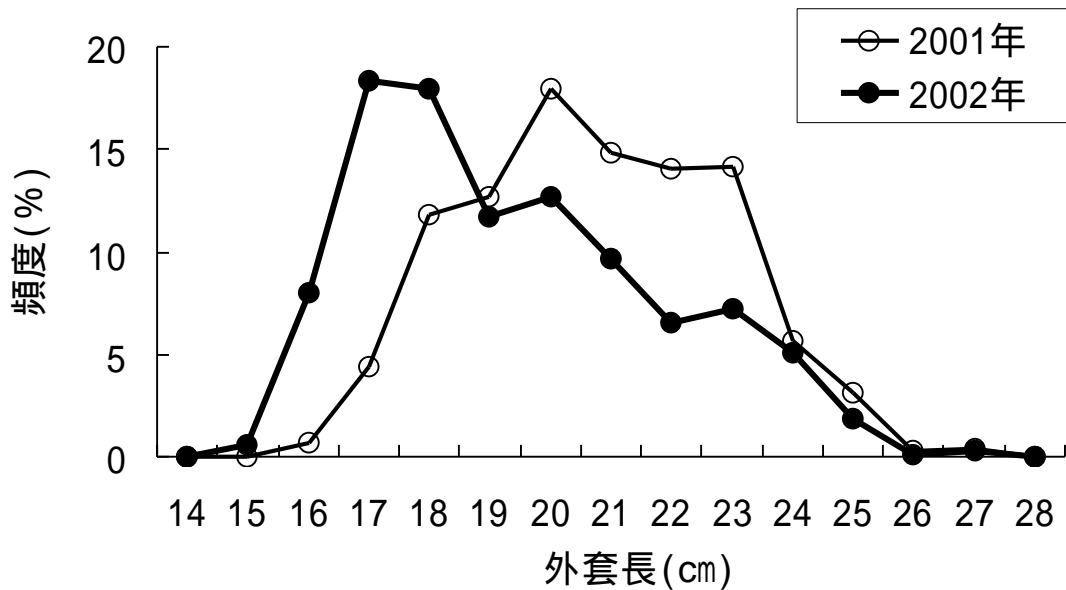


図3 調査海域全体の外套長組成

水温分布
 調査海域の50m深水温は、3~11台で、沿岸から沖合に行くほど低くなっていました(図4)。

標識放流
 表1のようにスルメイカの標識放流を行いました。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。

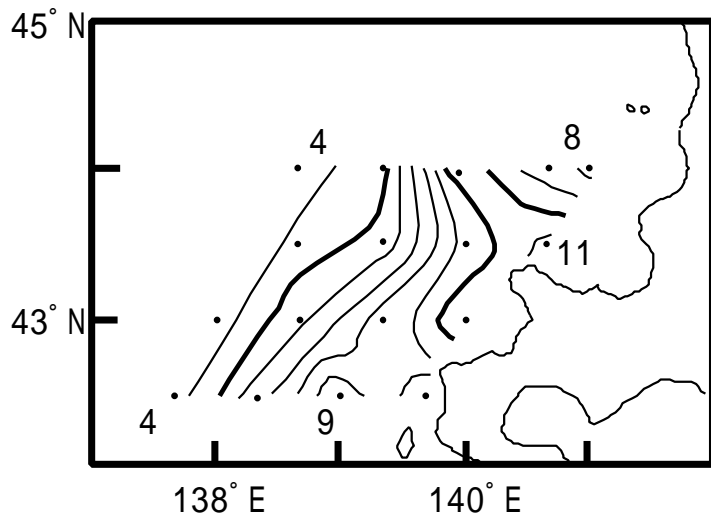


図4 6月下旬~7月上旬の50m深水温分布

表1 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流場所	標識の色・番号	放流尾数
6月25日	43°30'N、140°39'E	青色 JP・300~309	1,000
6月29日	43°00'N、138°40'E	青色 JP・310~318	900
6月30日	43°31'N、139°20'E	青色 JP・319~323	500
7月2日	44°00'N、141°00'E	青色 JP・324~329	600

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。